

「川口ダム湖畔活性化構想」案の概要について

1 目的

スマート回廊の中核をなす川口ダム湖畔の活性化により、スマート回廊を進化・発展させ、自然エネルギーの普及啓発とスマート回廊、ひいては那賀町全域における、さらなるにぎわい創出・地方創生につなげることを目指す。

2 構想内容

(1) ダム湖畔での“にぎわい”創出 ～カヌーレガシーの継承～

- 川口エネ・ミュー第2駐車場の利便性向上のための再整備
 - ・カヌー・SUP発着場の新設
 - ・第2駐車場の拡幅、ユニバーサルデザインによるトイレ改修
- ダム湖畔の憩い・景観の場の整備
 - ・景観保全のため、支障木の伐採及び桜の老齢化対策実施

(2) ダム湖畔での人材育成 ～「エネ・ミューの森」の活用～

- 森林体験エリア「エネ・ミューの森」を人材育成の場として活用
 - ・「エネ・ミューの森」にエントランスを整備し、環境学習を推進
- 川口エネ・ミューにおけるバーチャルな森林学習の場の整備
 - ・川口エネ・ミュー「お絵かきスマートタウン」をリニューアルし、エネ・ミューの森と連携・活用

(3) ダム湖畔と他地域との連携 ～交流人口の拡大～

- ・スマート回廊地域創造事業推進委員会と四国の右下観光局が協議会等を設置し、県南地域を主体に新たな体験型ツーリズムを創出
- ・広域的な観光メニューを設定し、那賀町の訴求力を向上
- ・県内の学校の課外学習の場として利用されるよう教育委員会と連携

3 構想期間

令和元年度から5年間

4 将来像

- (1) 人々が集いにぎわう湖畔 → カヌー・SUP活用ニューツーリズムの創出
- (2) 自然エネ・環境学習による啓発 → 人材育成推進
- (3) 広域連携による誘客の拡充 → 観光交流人口の拡大

5 スケジュール

令和元年7月 構想策定予定